

# 教師用 指導案

## 1. テーマ・授業名

テーマ2 パラリンピックスポーツ

授業5 ガイドランナーを体験しよう！

---【豆知識】---

視覚障害者の走競技は、障害の程度によってクラス分けされている。規則によって、ガイドランナーによる伴走が認められているクラスとそうでないクラスが定められている。

## 2. 授業の目標

- ・ガイドランナーの体験を通して、言葉によるコミュニケーションで重要なことは何かを考え、また、相手の立場になって考えること、お互いの気持ちを合わせて協力し合うことの重要性に気づく。
- ・視覚に重度の障害がある人も、スポーツを楽しめることを知る。
- ・競技を体験することで、視覚障害の走競技に興味を持ち、応援したり、ガイドランナーとして一緒に走ってみたいという気持ちを持つ。
- ・競技場以外の場所で、視覚に障害のある人たちがどのように行動しているのかを考えるとともに、自らの行動を考えるきっかけにする。

## 3. 本時の位置づけ

- ・総合的な学習の時間での活用。
  - ・保健体育のカリキュラムに盛りこむことも可能だが、その際、評価の視点を新たに設ける必要がある。
- ※その他、学級活動や学年集会などの時間を活用してもよい。

## 4. 指導の留意点、工夫点

- ・目が見えない状態で走ることは怖くもあり、危険も伴うことを十分理解させ、ふざけることがないように、笛を吹いたり、行動を短く区切ったりすることで、注意を促す。
- ・最初から走るのではなく、声かけの具体例を学んだり、映像を見せたりするなど、段階をふみながら、ガイドランナーの重要な点に気づけるようにする。

## 5. 準備物

- ・授業用シート (2-5)
- ・生徒用ワークシート (2-5)
- ・資料映像 DVD：リオ 2016 パラリンピック 男子 100 メートル T11 決勝
- ・目を隠すもの (タオル、手ぬぐい、アイマスクなど)
- ・ロープ (1メートルほどのひもの端を結んで輪にする)
- ・コーンなど目印となるもの

時間	学習活動 ○生徒の活動 (引き出した子どもの声)	指導上の留意点・配慮事項 ○教師の活動 (声かけ例)	準備物／教師参照物
導入 (2分) 【2分】	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">今日の目標を確認しよう。</p> <p>○今日の目標を理解する。</p>	<p>あらかじめクラスを6人程度のグループに分けておく。練習や競技はグループごとに行えるようにする。</p> <p>○視覚障害の他のスポーツ（サッカー、ゴールボールなど）の観戦のマナーなども例に挙げながら、今日は、見えない状態になることが多いので、基本は静かにする、笛を吹いたら話をやめるなどのルールを徹底する。</p> <p>・この写真の中で、ガイドランナーはどの人？ ・何をする人だと思う？</p> <p>※授業シートに従って、ガイドランナーの説明をする。</p>	授業用シート（2-5）
準備体操 3分 【5分】	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">準備体操をしよう。</p> <p>○通常の準備体操を行う。</p>	<p>○準備体操は、最初にやってもよい。</p>	
展開① (10分) 【15分】	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">「歩く」練習をしよう！ 慣れたら走ってみよう！</p> <p>・アイマスク、ローブを使って、コーンを回って折り返すなどの練習。</p> <p>・慣れたら、コーン（障害物）をよけて歩いたり、コーンを増やして、曲がる回数を多くしたりする。また、テンポを早めて走ってみよう。</p> <p>○見えない状態で走ることと、ガイドをすることを体験する。</p> <p>○体験していない時も、他の人を観察することで、ガイドランナーには何が大切かを理解する。</p> <p>・思ったより怖かった。 ・具体的に言おうとしたけれど、とっさには言葉が出てこなかった。</p>	<p>○安全のために、スタートの合図は教師が行う。 ※全員が体験できるように、2～3のコースをつくるなどの工夫をする。</p> <p>○体験をした後に、うまくいったペアの理由などを聞いて、全体に展開するとよい。</p> <p>○直線だけではなく、コーンを回って戻ってくる等の動きを入れる。簡単に感じているようであれば、距離を長くしたり、曲がる回数を増やしたりする。</p>	授業用シート（2-5）

時間	学習活動 ○生徒の活動 (引き出した子どもの声)	指導上の留意点・配慮事項 ○教師の活動 (声かけ例)	準備物／教師参照物
展開② (10分) 【25分】  話し合い・練習 約8分  映像 1分45秒	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">映像を見よう。</div> <p>○実際の競技の様子を見て、選手とガイドランナーの息が合っていることに気づく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「ガイドに求められる走り」について話し合おう。</div> <p>○グループごとに、選手が速く安全に走るためにガイドとして必要なことは何かを話し合う。 ○グループごとにランナーとガイドランナーを決めて練習をする。 ・1,2,1,2と声をかけたり、早めの指示を出すことでうまく走れる。</p>	<p>○映像を見ての感想を発表させ、選手とガイドランナーの様子に気づかせる。</p> <p>○映像のように走るコツを考えさせる。 ○練習は、グループごとに離れて行うようにして、安全には十分注意する。</p>	映像資料 DVD： リオ 2016 パラリンピック 男子 100 メートル T11 決勝
展開③ (15分) 【40分】	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">走ってみよう！</div> <p>○グループ対抗のレースを行う。</p>	<p>○ポールをUターンして戻るコースにする。ゴール地点から先に障害物がないようにする、壁から距離を取るなど、安全には十分注意する。</p> <p>※2～3グループが同時にスタートするなど工夫をする。 ※本時はガイドランナーを体験することがねらいなので、競争に勝つために危険な走り方(声かけをせずにランナーを無理矢理引張るなど)にならないように注意を促す。</p>	
振り返り まとめ 片づけ (10分) 【50分】	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">今日の体験をもとに、街での視覚に障害のある人に対する行動について考えよう。</div> <p>○街で困っている視覚に障害のある人に、どのように接すればよいかを考えて、発表する。 ・肩やひじに触れてもらって案内する。 ・口頭で困っていることを聞く。</p> <p>○感想をワークシートに記入する。</p>	<p>○ガイドランナーを経験したり、その役割について考えたが、今日学んだことをふまえて、街で視覚に障害のある人が困っている場面に遭遇したら、どのようにサポートすることができるか考えさせる。</p> <p>○授業用シートを使って、街での視覚に障害のある人に対する行動のポイントについて伝える。</p> <p>○今日の感想を宿題として出す。</p>	授業用シート (2-5) 生徒用ワークシート (2-5)

